

海外安全対策情報 2020年第3四半期（7～9月）

在ブルガリア日本国大使館

1 社会・治安情勢及び一般犯罪・凶悪犯罪の傾向

(1) 社会情勢

7月9日、ソフィア市中心部の国民議会周辺でボリスフ首相及びゲシェフ検事総長の辞任を求める大規模な反政府デモが発生し、それ以降、連日、同所を中心に、全国各地で反政府デモが行われました。デモは概ね平穏に行われたものの、デモ隊が全国各地の主要交差点や高速道路をブロックして一時的に交通に大きな支障が出たり、時折、一部のデモ隊が過激な行動に出て、警察部隊と衝突し、逮捕者や負傷者が出る事態が発生したりしました。デモは10月に入っても継続しています。

(2) 治安情勢

ブルガリアの犯罪発生件数は近年減少傾向にあり、2019年の犯罪総数は2010年の約6割にまで減少しました。しかし、その一方で、日本と比較すると依然として犯罪発生率は高く、人口10万人当たりの発生件数では、犯罪総数は日本の約2倍、殺人は約4倍、強盗は約1.4倍となっています。

2020年に入っても犯罪の減少傾向は続いており、上半期（1～6月）の犯罪認知件数は前年同期比マイナス7.8%でした。特に新型コロナウイルスに対する緊急事態宣言により都市間移動が制限された3月及び4月は前年と比べて大幅に犯罪が減少したものの（3月：マイナス14.5%、4月マイナス22.4%）、5月はマイナス幅が縮小し（マイナス2.5%）、6月は今年初めて前年を上回る犯罪が発生しました（詳細別添参照）。

(2) 邦人被害犯罪の発生状況

この期間における邦人被害の犯罪は認知していません。

2 テロ・爆弾事件発生状況

7月1日、黒海沿岸の都市ブルガスにおいて、シリア系ブルガリア人が国外におけるテロに関与した容疑で逮捕されました。同人がブルガリア国内でのテロ活動に従事していたか否かは明らかにされていません。

3 誘拐・脅迫事件発生状況

邦人が被害に遭った事件は認知していません。

4 日本企業の安全に関する諸問題

対日感情は基本的に良好で、特段の問題点は報告されていません。

2020年	犯罪総数		強盗		窃盗		薬物犯罪	
	件数	前年比	件数	前年比	件数	前年比	件数	前年比
1月	7184	-8.3%	104	-17.5%	2381	-3.6%	463	6.9%
2月	6598	-1.2%	107	16.3%	2064	-4.9%	489	9.4%
3月	6394	-14.5%	91	-24.8%	1879	-18.3%	376	-22.0%
4月	5859	-22.4%	54	-36.5%	1426	-37.8%	363	-26.4%
5月	6686	-2.5%	79	-24.8%	1545	-27.8%	480	12.4%
6月	7011	4.9%	87	1.2%	1765	-10.9%	521	15.3%
計	39732	-7.8%	522	-15.1%	11060	-17.2%	2692	-1.5%

2020年上半期違法薬物押収量

	押収量	前年比
ヘロイン	242.1kg	-40.5%
コカイン	869.1kg	301.8%
マリファナ	396.1kg	-77.1%
大麻草	5247本	1.7%
合成麻薬	58.5kg	-66.7%
合成麻薬 (錠剤)	5441個	174.4%

出典:内務省 HP